



## シンビジウム（ラン科）

### ●日光と通風で元気な株に育てる

冬はガラス越しの日光に当て、暖くなる春から秋にかけては戸外で十分に日光に当てます。ただし、真夏の直射日光に当てると、葉焼けを起こすので30%の遮光をします。また十分な通風をはかり、病害虫の発生を防ぎます。

### ●水分と温度

水を好むので、夏は毎日、冬は植え込み材が乾いたらたっぷり水を与えます。また夏の夜は気温が下がらず高いので、夕方水やりと鉢のまわりに水打ちします。冬は空気が乾燥するので、時々霧水をかけるようにします。生育適温は最低10℃、最高25℃です。

### ●肥料

4月から7月の生長期に、月1回の玉肥と液肥（2,000倍液）を3回与えます。夏をすぎても肥料が効きすぎていると花芽にならず葉芽になってしまいます。

### ●植え替えと株分け

元気な株に育てるには、2～3年経ったら植え替えます。また、バルブ（\*）が鉢縁一杯になり新芽の伸びる余地がなくなってきたら株分けします。適期は3月頃、遅くとも5月までには終わらせます。植え込み材料は、市販のシンビジウム用土（バーグ・ココナッツチップ等の混合材）が最適です。

### ●新芽を育てる

咲いた花茎をいつまでもつけておくと株が弱り、新芽の育ちが遅れ、翌年の花が見られなくなるので、花茎の先端の花が開いたら花茎を切り取り、花瓶に挿して楽しめます。

市販されているシンビジウムの多くは、タイ・ビルマ・ベトナムなどの東南アジアに自生している洋ランを品種改良したものです。

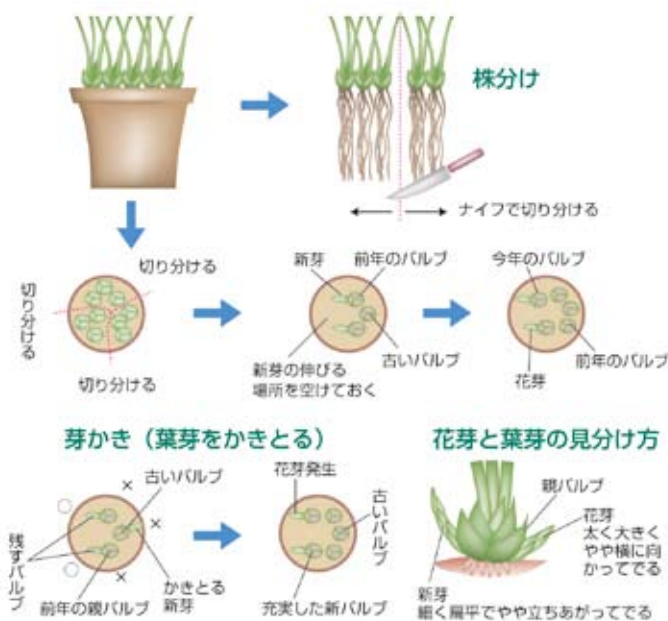


### ●芽かき

芽かきをすることで、よい花芽を育てられます。（図解参照）

### ●病害虫の発生に注意

炭素病、ウイルス病に注意し、アブラムシ・カイガラムシ・ハダニが付き易いので、発生を見たら速やかに駆除します。



\*バルブ・・・株元にある玉ネギのような葉が重なった球状の塊。春に出た新芽が生長したもので、葉が8枚以上になって初めて成人のバルブ（親バルブ）になり、花芽を出すことができます。

### 年間管理表（無加温）

作業	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
育成状況		休眠		開花				生長			花芽発生		休眠
置き場		室内			室外			30%遮光					室内
水やり		乾いたら与える			朝与える			朝夕与える		朝与える	乾いたら与える		
肥料			液肥1回		玉肥1回、液肥3回								
病害虫防除		アブラムシ		カイガラムシ				ハダニ			カイガラムシ		
作業				植え替え、株分け				芽かき					

## 編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- 厳しい寒さだった冬から、暖かい日差しが戻り多くの花々を楽しめる季節となりました。（中）
- いよいよ爛漫の春！可憐な草花たちとの1年ぶりの出会いに、つい笑みが…。願わくば、花と名前が一致することを！（羽）
- 寒い冬の間にも、しっかり新芽や花芽を準備して春の訪れと共にだんだん膨らんでくる木々の生命力に、感動する今日この頃です。（原）
- 寒い寒いと言っているうちに、ようやく木々や花々が萌えはじめ、散歩が楽しい季節となりました。活動全開です！（山）
- シンビジウムの手入れ方を教えていただきました。我家にも葉っぱだけの鉢がごろりん…よし！来年は、きれいな花を咲かせますからね！（朋）
- しばらくぶりに参加して、皆様の熱心さに励まされました。（松）
- サイクリングや散歩をしたくなる季節です。行き先は？「みどりとひと」にヒントがいっぱいです。（芳）
- 「冬来たりなば、春遠からじ」の厳冬の時節に花の話題は楽しくなりますね～。（石）
- 地熱は確実に高くなっているようで、春の草花がいきいきしてきました。来季の秋冬の花の手入れも始まります。忙しい季節の到来です。（大）



あの路 木の花／井草川を懐かしむ小路  
みどり探訪／和田・立法寺の花々  
緑の歳時記／オオイヌノフグリ  
みどりの窓／みどりのボランティア杉並第7期募集  
（予告）／「みどり探訪写真展」を開催します！  
園芸ワンポイント／シンビジウム

## あの路 木の花

### 井草川を懐かしむ小路

井草川遊歩道は、杉並区の北西を流れていた井草川を暗渠化してつくられました。水源は現在の都立杉並工業高校あたりの湧水で、遊歩道は三谷公園を起点として、西武新宿線井荻駅前を經由し、さらに妙正寺公園まで続きます。

レンガ舗装の遊歩道を歩くとすぐに、三谷小学校の裏に道灌橋公園があります。公園の前にはテイカズラが絡むレンガのパーゴラがあり、おしゃれな風景です。細く曲がりくねった道をしばらく行くと、四宮森公園にもフジのパーゴラがあり、花の季節が楽しみです。

遊歩道を歩いていると、クロガネモチ、ピラカンサ、ナツメ、キンカンなど実のなる木が多く、花の少ない季節も彩りがあり、実をついばみにくる小鳥たちも楽しめます。道沿いの家々も草花を育てていて、人の暮らしの温かさが感じられる気持ちのよい散歩道です。



道灌橋公園前のパーゴラ

# みどり探訪

## 和田・立法寺の花々

立法寺は、永正3年（1506）創建され、大正9年（1920）に千駄ヶ谷から現在の和田二丁目に移りました。巨大な仁王像に護られた山門をくぐると、正面に十界諸尊と日蓮上人坐像の祀られた立派な本堂が見えます。

参道の左右には、よく手入れされた灌木を中心としたミニ植物園という感じの庭園があります。春はリキュウバイ、ギョイコウ、ボタン、初夏にはモクゲンジ、冬はサザンカ、ハシバミなどの花々が楽しめます。またシキミ、ボダイジュ、ハクモクレンなどの樹木も見られます。

この付近は、救世軍ブース記念病院にも樹木が多く、みどりに親しめる環境になっています。



※檀家の方を大切にされていますので、静かに拝観されますようお願いいたします。



モクゲンジ



ハシバミの雄花



リキュウバイ



ギョイコウ



本堂



シキミ

## 緑の歳時記 区内でよく見かける帰化植物

### オオイヌノフグリ (大犬の陰囊)

ゴマノハグサ科 / 中近東原産の越年生草本

**茎** は根もとから枝分かれして四方に広がり長さ40cmほどになり、全体に軟毛があります。葉は長さ7~18mmの卵状広楕円形でふちに粗い鋸歯があり、茎の上部では互生(\*1)し、下部では対生(\*2)します。3~5月、葉より長い柄(\*2)を出し、直径約1cmの四裂した花をつけます。花は、青色で濃い青色の筋があり（中心は黄色、裂片の1枚はほぼ白色）陽を浴びて開きます。

1880年頃（明治時代）に東京で発見され、今では全国に分布しています。区内では、道端・植え込み・川の土手・畑などで見ることができます。名前の由来は果実の形からきていて、フグリとは陰囊の雅語的表



現であり、在来種のイヌノフグリより花が大きいイヌノフグリという意味です。なんとも可哀そうな名前がついたものです。春の日向に群生している花々はまるで「青い妖精」か「青い星」のように美しいものですが、あなたならどんな名前をつけますか。

\*1互生(ごせい)…葉が枝や茎に互い違いにつくこと。 \*2対生(たいせい)…枝や茎を中心として葉が左右対称につくこと。 \*3柄(へい)…葉または花と茎をつなぐ部分。

# みどりの窓

## 「みどりのボランティア杉並」第7期会員募集!

### 長寿応援ポイント「地域貢献活動」対象事業

みどりのボランティア杉並は、地域緑化に関するボランティア活動を始めようとする方の、きっかけの場です。会員は生活者の視点を大切にしながら、仲間と一緒に区内のみどりを守り、増やし、育てる活動を行います。

#### ■どんな活動をするの?

区が活動内容を示すだけでなく、ボランティアの方々同士で話し合い、活動内容を考えていただけます。これまでの活動内容は、樹木・草花の維持管理、樹名板設置、腐葉土づくり、本紙「みどりとひと」の発行などです。

#### ■誰と活動するの?

お住まいが比較的近い方々と活動していただけます。現在は区内を南北に分けて2つのグループで活動していますので、同様の地域分けで先輩ボランティアと一緒に活動していただけます。

#### ■いつ活動するの?

活動日は活動内容に合わせて決めていただけます。屋外での活動・話し合いは平日の昼間がほとんどですが、土曜日の活動もあり、都合に合わせて平日・休日どちらも活動

が行われます。活動の頻度は月2~3回です。

#### ■「花咲かせ隊」や「公園育て組み」とは違うの?

違います。みどりのボランティア杉並は活動内容が多岐にわたり、活動場所が一つではないことが特徴です。



剪定講習なども行います

### 活動までの流れは?

#### [1] まずは、ご応募下さい!

- 登録資格  
区内在住・在勤・在学の方、または区内に活動場所を希望される方で、次に該当する方  
(1)無報酬で活動できる方  
(2)みどりに関心を持ちボランティア活動に理解と意欲のある方
- 登録期間  
平成23年4月~25年3月  
(原則は2年間。1回に限り更新できますので、最長4年間登録できます)
- 申込方法  
ハガキ・ファクスで、住所・氏名・連絡先と「みどりのボランティア杉並参加希望」と書いて、みどり公園課みどりの計画係へ（「問い合わせ先」参照）

- 締切  
平成23年3月14日（必着）
- [2] 3月下旬~4月上旬に、説明会・登録のご案内をお送りいたします
- [3] 4月に説明会を開催します。説明会終了後、登録用紙に記入いただき、登録完了（説明会に参加できない場合、資料をお送りいたします）
- [4] 4月下旬~5月上旬に活動がスタートします!

- 問い合わせ先  
みどり公園課みどりの計画係  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
Tel : 03-3312-2111 (代表) Fax : 03-5307-0697

みどりの写真展実行委員会では、昨年続き今年も杉並のみどりを紹介する写真展を開催します。今回のテーマは「身近なみどりをさがそう!」です。本誌に掲載された30点余りの写真を展示します。この写真展で身近なみどりを探し、地図を片手に楽しみながらみどり探訪をしてみようという趣向も考えています。

会期中「みどりのありか」を示す地図を配布します。ぜひ、ご家族でご来場ください。(入場自由)

会期: 5月10日(火)~20日(金) 但し16日(月)休  
12時~18時  
会場: ギャラリー オノマトペ (阿佐谷北4-21-16)  
期中の問い合わせ先: ギャラリー オノマトペ 内みどりの写真展実行委員会  
でんわ 03-6315-8667